キャリア実習
海外インターンシップ　報告書



© Tiến Trần 2023

＜実習期間＞
2026 年 2 月　23 日（月）～　3.月　9 日（月）
のうち、
2026 年 2 月　23 日（月）～　3.月　8 日（日）

＜実習先＞
Esuhai Co., Ltd Kaizen Yoshida School

＜所属学科・学年＞
国際交流学科 2 年

＜実習中のスケジュール（抜粋）＞

2026 年　2 月　25 日（水）

■主な実習内容
8:20～8:30　　社内挨拶
8:30～10:00　授業教案作成
10:00～11:30　クラス授業見学
11:30～12:10　 Japan Vietnam Festival で行う盆踊り練習
＜昼休み＞
13:15～14:45　アルバイト生　昼礼参加
15:20～15:50　インターンシップ担当者(社員)とオンラインで本日の振り返り、明日の打合せ
16:00～16:50　ホーチミン市内の他校舎見学
16:50～17:20　 Japan Vietnam Festival で行う盆踊り練習

■感想・印象に残ったこと
２つ印象に残った。1 つ目が学生の積極性と学習レベルの高さ。N2,N3 クラスの聴解授業を見学し、学生達が自ら進んで挙手する姿勢に元気を貰った。Listening のときは、自動販売機の多機能化(災害時の Wifi 機能や賞味期限間近の割引対応等)といった、日本人でも一瞬高度な内容と感じることも、理解しようとする姿に日本語教育の奥深さを覚えた。
2 つ目が、礼儀正しさと挨拶の徹底。学生達の立ち止まっての挨拶・盆踊りの練習と終わり、一斉に深いお辞儀をすることに感銘を受けた。真摯な姿勢を見て、自身の振る舞いも正していきたいと強く感じた。

2026 年　2 月　27 日（金）

■主な実習内容
8:00～10:30　　授業準備
10:00～11:30　N2,N3 クラス　授業担当
11:35～12:05　Japan Vietnam Festival で行う盆踊り練習

＜昼休み＞
13:10～14:30　アルバイト生昼礼参加、日誌作成
14:30～15:00　KS51　発表会　オンライン参加
15:15～17:30　（他校舎に移動し）来客対応準備（学生面接練習）

■感想・印象に残ったこと
初めての授業を行ったが、生徒の質問が多く、あっという間の時間だった。担当教員から「新出の漢字をホワイトボードに書く」「質問を質問で返す」という具体的なアドバイスをいただいたことで、視覚的なつたえ方と生徒の理解を深めるやりとりの重要性を学んだ。今日は、他校舎への移動があり、事前の確認が不足していたので、次回以降気を付けたい。

2026 年　3 月　3 日（火）

■主な実習内容
11:35～12:10　Japan Vietnam Festival で行う盆踊り練習
＜昼休憩＞
12:45～13:00　校舎前で登校する生徒に挨拶
13:10～14:00　アルバイト生昼礼参加
14:00～16:50　起業様宛の学生の受領報告書の修正対応（Excel）
16:50～17:20　Japan Vietnam Festival で行う盆踊り練習
17:45～18:00　オンラインでアルバイト生昼礼参加
18:00～21:30　SNS 投稿記事作成、翌日の授業準備、本日の振り返り

■感想・印象に残ったこと
盆踊りの練習と校舎前での学生挨拶を行った。盆踊り練習は担当教員不在の中で、自分が仕切って進行を務めたが、主体的な行動がとれたと感じている。校舎前での挨拶の際、学生たちが自分の顔を覚えていてくれたことで、非常にうれしく、任せられている仕事への責任と喜びを実感した。
企業様宛の受領報告書の修正においては、自分自身の国語力を見直す機会となった。学生の日本語力をより伸ばせるよう、一人一人とのコミュニケーションを一層大切にしていきたい。

2026 年　3 月　7 日（土）

■主な実習内容
8:00～12:00　Japan Vietnam Festival 他ブースの見学、Esuhai ブースサポート
＜長めの昼休憩＞
14:00～18:00　Japan Vietnam Festival 他ブースの見学、Esuhai ブースサポート
18:00～20:30　Japan Vietnam Festival 盆踊り　本番

■感想・印象に残ったこと
Japan Vietnam Festival に参加し、日本とベトナムの交流が長く続いていることを実感し、うれしく思った。また生徒たちが顔を覚えていてくれて、「先生！」と何度も呼んでくれました。インターンシップ終了が近いことを伝えると「またベトナムに遊びに来てほしい」「日本でも遊ぼう」と言ってくれた。この 2 週間で本当に多くの学生と仲良くなることができ、学校だけでなく学外では逆にサポートしてくれたりと、優しい学生たちばかりでした。とても充実した２週間です。

＜実習をふり返って＞

１． 実習先について

日本人教員 50%ベトナム 50%

日越の場合は日本語。英語なし。

事前に、日本事務所での研修（2 時間程度）もあり、教案作成等も事前の指導があった。

また、現地では実践的な対応を多く求められた。

日本語教員を目指すひとにはお薦めな研修場所である。

２． 現地の生活環境

・空港からホテルまではアルバイト学生が一緒に行動してくれる。帰国時は、自分でタクシーを利用した。
・通信環境は特に問題がなかった。
・ホテルでは、朝食も現地のメニューが基本だが、麺類ほかおいしかった。
・ベトナムはおいしいものがたくさんあるので、日本食を持参するのは最小限でもよいと思う。
・ホテル近隣にはコンビニエンスストアや飲食店があるので不便なことはなかった。
・治安も特に不安なことはなかった。現地の人の移動はバイクが主流。
・勤務時間が朝早い日もあるので、体力的には大変だった。
・休日は学生アルバイトと一緒に観光地に行くことや遊ぶことでリラックスもできた。

３． 実習の目的への達成度と感想

・インターンシップを通じた自己理解と自己成長

日誌でのメモや PDCA を意識しながら、できなかったことを翌日改める、という PDCA を行い、弱い点を補うことで、自分自身の成長を感じることができた。実習においては、海外という環境も加えて、正社員に準じた「働く」環境で、関わった人との関係性を大事にすることを心がけるようになり、かつ、自分から関係性を新たに広げる姿勢も積極的にとることができるようになり、コミュニケーションの持つ力やそれを実践できていることを再認識した。

・異文化理解

現地の学生と授業をするときに、伝え方を工夫し、授業外での文化も含めた交流を行うことで、ベトナムについての理解を深めることができた。同時に、日本語学校という業種において、日本の文化だけでなく、集団行動のルールや整理整頓、挨拶等の日常的な生活規範も指導者の立場で実践しベトナムの学生に理解させ実践できるよう導く、という「教える」立場での責任を感じた。

・主体性

自分自身から発信していくことや、わからないことをそのままとせず、確認し、行動につなげ、ミスを防ぐことを心掛けた。盆踊り練習では、当初はただ踊る練習形式だったが、それではまずいと気づき、練習する学生とコミュニケーションをとりながら指導することを心掛け、学生たちが練習することの意味合いと練習での雰囲気向上が図れた。校舎間の移動も何日かあったが、初めはどうしてよいかわからず戸惑った。そこで、他の社員さんに移動方法を確認し、自分で Grab(アプリ)を使ってバイクを手配するといった行動に移し、その後は校舎間移動もスムーズにできた。

勇気をもって自分からアクションを起こしてこそ、チャンスや成果もついてくるし、つかみ取るものだと感じた。